



N.Oさん

2022年度 入社

国際環境工学研究科 情報工学専攻 出身

Q.どんな仕事をしていますか？

プログラマーを支える、プログラムリーダー

プログラムリーダーとして、鉄鋼業のお客様向けの基幹システム再構築プロジェクトに携わっています。

プログラムリーダーは、プログラマーとしての開発業務に加え、システムの共通仕様の検討や、チーム内の技術的なサポート、システム導入に必要なサーバー構築など、幅広い役割を担うポジションです。関わる領域が広いので大変な部分もありますが、その分着実にスキルが身につく、日々成長を実感できる仕事だと思っています。

現在は主にプログラマー（PG）として業務に取り組んでいますが、今後は上流工程にも関わるシステムエンジニア（SE）、さらにプロジェクトをけん引するセッションリーダー（SL）へとステップアップしていきたいと考えています。

Q.仕事で嬉しかったエピソードは？

“お客様の役に立っている”実感を得られる時

当社では独自の開発手法である“JBCCアジャイル”を採用し、システムをリリースする前の開発途中段階から、お客様に実際にシステムを試用していただきながら開発を進めます。そのため、プロジェクト中盤から自身の成果が見えやすく、早い段階で“お客様の役に立っている”という実感を得られるのが魅力です。

また、実際に自分の頑張りが成果として会社に評価され、賞与(ボーナス)アップに繋がった時は、更に嬉しい瞬間でした。もちろん繁忙期は残業が増えることもありますが、それ以上にやりがいを感じながら業務に取り組んでいます。

Q. 入社の決め手は？

働く人々の雰囲気と、挑戦できる風土が 自分自身に合うと感じたから

私がこの会社を選んだ一番の理由は、働いている人の雰囲気が自分に合っていると感じたからです。内定後の内定者面談では、先輩社員の方々が業務内容やキャリアプランを丁寧に説明してくださり、不安な部分にも真摯に相談に乗っていただきました。そのおかげで、入社後の自分を具体的にイメージできました。

実際に入社してからも、若手に積極的にチャンスを与える風土を強く実感しています。入社2年目には十数名規模のプロジェクトでプログラムリーダーを担当し、先輩方のサポートを受けながら無事に完遂することができました。この経験を通じて、責任ある仕事に挑戦しながら早い段階で成長できる会社だと改めて感じています。

Q.就職活動中の皆さんへアドバイス！

会社選びでは“雰囲気を知ること”が大切だと感じています。リモート面接が増えた今、社員の方の働く姿やオフィスの空気感を直接見る機会が少なくなり、自分がそこで働く姿をイメージしにくくなっていると感じます。

だからこそ、会社説明会や座談会などで社員の方と話す機会を積極的に活用し、気になることをたくさん聞いてみてください。実際に足を運んだり、社員の声を聞いてみると、『自分に合う・合わない』をはっきり感じられ、入社後のギャップを大きく減らすことができると思います。

